

牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（「人口ビジョン」「総合戦略」）の全体像

◆人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口減少問題の克服

◎2060年に社人研※推計より約5,000人の人口増

- ・2060年人口見通し32,500人(社人研推計:27,590人)
- 「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける
 - ・若者の流出を止め、呼び戻す
- 「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く
 - ・2020年に1.7、2025年に1.8、2030年に2.0
- 長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施
- 将来世代にツケを回さない
 - ・公共施設更新問題にも早期着手
- 「選択」と「集中」の徹底
- 高齢者が活躍できる社会づくり

※国立社会保障人口問題研究所

◆総合戦略(平成27年度～31年度の5か年)

将来都市像	理念	重点プロジェクト(◆数値目標)	主な重要業績評価指標(KPI※)	主な施策
<p>絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら</p>	<p>まちづくりの基本的な考え方(協働・情報共有・行政経営の適正化等)</p>	<p>“宝”子ども育成プロジェクト 子どもを産み育てやすい環境をつくる ◆合計特殊出生率1.70 ◆子どもを産み育てやすいと感じる市民割合70%</p>	<p>子育て世帯の経済的負担軽減施策の市民満足度80%</p> <p>待機児童ゼロを継続</p> <p>子育て楽々サポーター登録数200人</p> <p>子どもを通わせたいと思える学校づくりへの市民満足度62.2%</p>	<p>○子育て世帯への経済的支援の充実</p> <p>○待機児童の解消</p> <p>○結婚、妊娠、出産、育児への情報発信、自信付け、スキルの提供</p> <p>○英語スピーチ力の強化</p> <p>○幼稚園、保育園、小中学校の縦の連携強化</p>
		<p>“輝く”高台開発プロジェクト 魅力を感じて定住するような住環境を整備する ◆高台開発による転入者増加数600人</p>	<p>年間企業立地件数3件(1,000㎡以上)</p> <p>年間建築確認申請件数(共同・専用住宅)250件</p> <p>住宅地整備・住宅情報発信の市民満足度45.1%</p>	<p>○東名高速道路相良牧之原IC北側の複合的な用途による開発</p> <p>○首都圏や海外との時間的距離の短縮を活かした研究、製造、教育施設等の誘致、住宅情報の発信</p>
		<p>“魅力ある”産業雇用プロジェクト 安定した雇用を創出する 若者が働きたいと思える就業環境をつくる ◆年間新規雇用者数610人 ◆市の産業は活力があると思う市民割合50%</p>	<p>観光交流客数288万人</p> <p>年間起業数23件</p> <p>年間新規就農者数10人</p> <p>農業生産法人化数34件</p> <p>マッチングによる就職者数50人</p>	<p>○地域資源の発掘と研鑽による魅力ある地域産業の基礎づくり</p> <p>○既存企業等の新たな取組への意欲向上及び技術的な支援の充実</p> <p>○農業の担い手の確保・育成とビジネス経営体の育成支援</p> <p>○結びつける情報発信とマッチングの場づくり</p>
		<p>“生き活きと”健康で活躍プロジェクト だれもが生き活きと暮らせる地域をつくる ◆お達者度※男性17.60 女性21.70 ※65歳から元気に暮らせる期間(年)</p>	<p>地区まちづくり計画の策定地区数10地区</p> <p>自発的な健康づくり活動継続地区数3地区</p> <p>一般高齢者外出頻度(週4・5日以上)80%</p>	<p>○主体的な地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを主体的に考える場づくり等 ○地域や個人に密着した健康づくり ・地域、企業と連携した地域健康課題の取組 ○高齢者の活躍の場づくり ・アクティブシニアを増やす
		<p>公共施設“最適化”プロジェクト 長期にわたり安全・安心な公共施設提供する ◆維持管理経費削減割合6% ◆公共施設マネジメント容認度90%</p>	<p>固定資産管理システムの完全稼働100%</p> <p>施設類型ごとの個別計画策定率100%</p>	<p>○公共施設データベースの構築(見える化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産管理システムの導入 ○基本方針に基づく個別計画の策定 ○インフラ資産の長寿命化の推進
	<p>重点戦略(重点Pの編成基準)</p>	<p>土地・空間利用の基本的な考え方</p>		

※Key Performance Indicatorの略